

多文化共生社会をめざして

あおもり 国際交流つうしん

AOMORI INTERNATIONAL EXCHANGE JOURNAL

2024

7

NO.153



青森ねぶた祭に参加している「あおもり日本語学園」の留学生の皆さん

目次

- 02/ 特集：外国人の日本語教育を広げましょう① 交流型日本語教室ほか
- 03/ 特集：外国人の日本語教育を広げましょう② あおもり日本語学園（青森市）
- 04/ 取組などの報告
- 05/ お知らせ
- 06/ 外国人相談窓口・世界の文化コーナー
- 07/ JICA東北から皆様へ

公益社団法人青森県観光国際交流機構

青森県観光国際交流機構では、県内に在住する外国人の日本語教育の推進に向けて、県、市町村、NPO団体、企業、教育機関などと連携し、主に次の3つの取組を進めています。

1	2	3
交流型 日本語教室	青森県 日本語指導 サポーター 養成講座	日本語 パートナー 養成講座
●●●	●●●	●●●

●●● 交流型日本語教室

県内の外国人住民に「日本語を学習する」「地域住民と交流する」「地域を理解する」ための機会を提供して、外国人住民が地域住民とともに円滑に日常生活を営むことができるよう、お互いが**対等な関係**のもとで、**対話による交流**を通して信頼関係を深めるために、交流型日本語教室を開催しています。

現在、青森市、弘前市、中泊町で開催しているほか、会議システムを活用したオンラインによる教室も実施しています。

今後、地域のニーズ等を考慮しながら、新しい地域で開催したいと考えています。

●●● 青森県日本語指導サポーター養成講座

日本語指導サポーターとは？

◆「交流型日本語教室」等の地域の日本語教室では、外国人住民に対して地域住民と円滑にコミュニケーションができるよう**日本語の指導**を行い、地域の一員として青森の地で安心して暮らせるようにサポートしています。

◆日本語指導が必要な児童生徒が在籍する県内の小・中・高等学校では、対象児童生徒が日本語で教科学習に参加できるよう**教員の指示のもと日本語の支援**を行い、学校生活を安心して送れるようにサポートしています。

青森県日本語指導サポーター養成講座

当機構では、青森大学と連携し、地域の日本語教室で日本語の指導を行う人材を育成する「青森県日本語指導サポーター養成講座」を開催しています。

初日は、外国人に日本語を教えるにあたり最も基本的なこと、本県の多文化共生、やさしい日本語などを学び、外国人と話す体験をします。

2回目以降は、日本語指導に必要な言語学の知識や教案作成の方法などを学びます。

講座を修了した受講生は「日本語指導サポーター」として登録されます。

今年度は、6月29日（土）から全8回の日程で開催しており、28名の受講生が大学生や履修生の方々と一緒に、日本語の文法などについて学んでいます。

●●● 日本語パートナー養成講座

日本語パートナーとは？

日本語パートナーは、交流型日本語教室などで外国人住民と**日本語で対話による交流を行う際に、学習者に寄り添い、発言を促す**などの役割を果たす存在です。

日本語パートナー養成講座

当機構では、青森大学と連携して、毎年2回、交流型日本語教室の開催地域でパートナー養成講座（2日間）を実施しています。

講座の初日は座学で、日本語パートナーの定義、活動と目的、外国人との対話のコツ、やさしい日本語などについて学びます。

翌日は実践の場を作り、実際に外国人と対話します。前回学んだやさしい日本語と対話のコツを活かして、外国人から話しを引き出します。

講座を受講後、「日本語パートナー」として登録されます。

今年度の開催日程は未定ですが、ご興味のある方は当機構までお問い合わせください。

交流型日本語教室の一例紹介（中泊町）

昨年5月26日は、中泊町役場で、学習者7名（モンゴル、インドネシア）、講師（サポーター）、パートナーが参加し、交流型日本語教室を開催しました。

はじめに、「母の日と父の日のプレゼント」について話した後、文法「おかげで」「せいで」を学習し、ビンゴゲームで文法を練習しました。

また、授業の後には、オリジナルの団扇と一緒に作りました。



県内唯一の日本語学校「あおり日本語学園」の澤井校長にお話を聞いてみました！



日本の言葉と文化を学ぶ場所

あおり日本語学園

〒030-0903 青森市栄町1-4-8

TEL: 017-742-6825

校長
澤井 登史朗 さん

日本語学校設立のきっかけは何ですか？

当校の理事長、古川崇は自身が運営する介護事業の海外人材受入れのため、2005年頃から海外の視察を続け、その中で、外国人定住者が少ない本県は「日本語教育」と「地域住民の異文化理解」が十分とは言えず、このままでは在留外国人が定着しないということに気づきました。

そこで、青森県にも日本語教育の柱となる場が早急に必要だという思いに駆られ、2018年から設立準備を始め、2021年の開校に至りました。

現在何カ国、学生何名在籍されていますか？

現在、6か国計52名の学生が在籍しています。

今秋には更に21名の新入生を迎える予定です。国別の人数はネパール、ミャンマー、モンゴルの順になっています。

外国人留学生の受入れや、日本語指導の際に、大変なことや困ったことなどがありますか？

来日間もない留学生は、日本での生活に慣れるまで時間がかかります。はじめのうちは、寮の掃除をしない、ゴミの出し方で近隣から苦情がくる、タバコの吸い方で注意される、自転車で歩道を横並びに通行して歩行者に迷惑をかける等の問題が起きました。他にも、夜に大きな声で話しているのがうるさいと言われたり...

それで、当校では入学直後のオリエンテーションからゴミの出し方、タバコのマナー、交際ルールなどを指導するようにしています。

しかし、学生達は母国の生活習慣や感覚をそのまま日本に持ち込んでくるので、日本のルールやマナー、生活習慣に慣れるには時間もかかります。

学生達の多くは日本で就職することを目的としています。日本語を学び、自分や家族のために将来を切り拓きたいと思っています。そのお役に立てることが我々の仕事であると考え、語学と生活の両面で、外国から来た若者達を育てています。

外国人留学生の受入れの際、学校が支援していることはありますか？

学生達の経済的負担を減らすため、学生全員が居住できる寮を確保しました。寮には必要な家電や家具も備えています。

また、アルバイトをしたい学生には、本人の自立を促すため、求人調べ方や応募方法までは教え、その後は本人に対応させるようにしています。

学生にどのように日本語を教えていますか？

日本語で日本語を教える「直接法」で教えています。自分の気持ちがきちんと相手に伝えられ、相手の言うことが正しく理解できる学力と態度の養成を目標に指導しています。また、挨拶をきちんとする、時間厳守といった生活マナーの指導にも力を入れています。



留学生が勉強している様子

学生たちは、卒業後、どのように活躍していますか？

これまで15名が卒業しましたが、県内には学生達を受入れる自動車関係やビジネスの専門学校がないため、みな県外に行ってしまいました。もっとも、来年卒業予定の学生3名は県内で介護の仕事に携わる予定です。

地域の担い手として一人でも多く青森に定着してくれると嬉しいです。外国の人々の定着には彼らを受入れることのできる学びの場と仕事の場があり、多文化が共生する社会が築かれていくことが必要だと思います。

今後どのように地域と関わっていきたいと考えていますか？

昨年、造道小学校の企画「各国のゲームを体験しよう」に参加し、ネパール、ミャンマーなどの学生が子ども達とゲームを楽しみました。

今後も県内の小、中、高校生徒と交流を進め、お互いの文化や価値観に対する理解を深めていけるものにしたいです。

アジアの国々にも、それぞれに尊重すべき文化があることを知り、多様な文化や価値観に対してお互いに敬意を払うということが多文化共生社会には不可欠です。こうしたことを子ども達にも知ってほしいと思っています。

青森県日本語指導サポーター養成講座と
交流型日本語教室を実施しました！

令和6年度青森県日本語指導サポーター養成講座が6月29日（土）から始まりました。

本県の多文化共生、やさしい日本語を学んだ後、青森市と連携して、「ゴミの分類」をテーマとした交流型日本語教室で実習しました。

今回は、青森大学で開催し、あおもり日本語学園(3頁へ)の留学生13名（ミャンマー、ネパール、スリランカ）と受講生28名がサポーターとして参加しました。

皆さんが自己紹介をした後、文法「～してはいけない」を学び、青森市職員が講師となつてごみの分類に挑戦しました。最後に、オリジナルのペットボトルランタンを作りました。



おしゃべりサロンを開催しました！
(アスパム2階 国際交流ラウンジ)

4月12日（金）、県内の桜名所について話し、押し花でオリジナルのしおりを作りました。



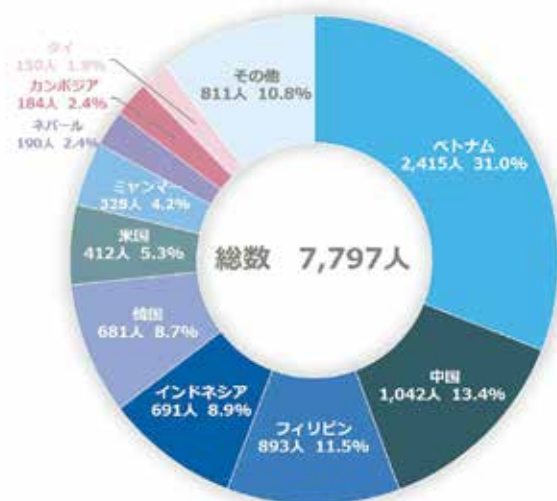
6月21日（金）、華道体験を行いました。先生の指導を受けながら、好きなお花を生けました。



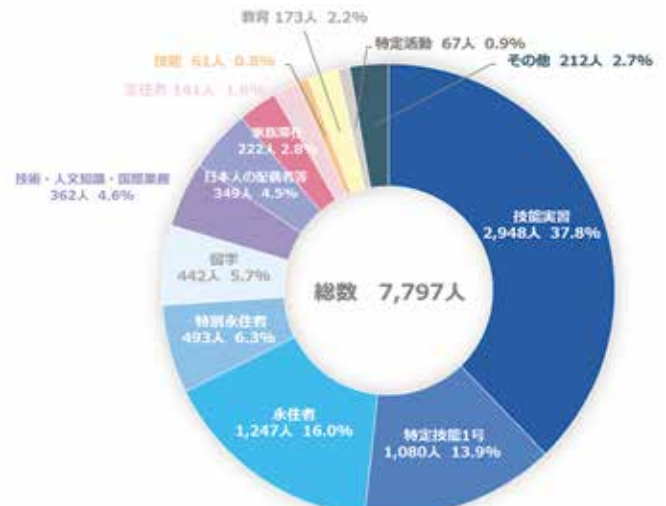
2023年12月末時点青森県内在留外国人の状況

青森県内の在留外国人数は、令和5年（2023年）末時点で7,797人となり、前年末（6,702人）から1,095人（+16.3%）の増加で、過去最高を更新しました。なお、県総人口（令和5年末時点1,180,672人）に占める外国人の割合は0.6%となっています。国別ではミャンマー（+98.8%）、インド（+95.5%）、インドネシア（+94.6%）が大きく増加し、在留資格別では「特定技能1号」（+57.9%）が大幅に増加しています。市町村別など詳しくは、当機構のHPよりご確認ください。

青森県在留外国人 国・地域別状況（2023年末時点）



青森県在留外国人 在留資格別状況（2023年末時点）



おしゃべりサロンを開催します！

県内に住んでいる外国人のみなさんが気軽に集まって、おしゃべりしながら交流し、お互いの文化に理解を深めることを目的に開催します。

日本の伝統行事や文化を体験したり、日本語を勉強したり、日常生活の相談にも応じます。皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時	毎月第2土曜日 10:30～12:00 (8月、12月はお休み) ※内容によって日時変更の場合あり	予約 不要
開催場所	青森県観光物産館アスパム 2階 国際交流ラウンジ	
テーマ (予定)	9月14日(土) 防災 10月12日(土) りんご 11月9日(土) クリスマス 1月18日(土) 書道(要予約)	無料 内容により 材料費負担
募集人数	5名程度	

ワンストップ相談会開催のご案内

入管、青森労働局、弁護士、行政書士、社会保険労務士等の専門家が集まって対応する相談会です。複雑な困りごとについて丁寧にアドバイスします。

日曜日に開催しますので、お仕事をしている方もこの機会にぜひご相談ください。

年月日	時間 (予定)
9月29日 (日)	13:00～16:00
場所	
青森県観光物産館アスパム 5F 白鳥	

- 相談は無料
- 事前予約が必要
- 通訳手配可能

詳しくはこちら ▶



国際理解講座／世界をのぞいてみよう～モンゴル・カンボジア～

11月30日(土)に、「世界をのぞいてみよう～モンゴル・カンボジア～」をテーマに、国際理解講座を開催します。

今回は、両国の歴史文化、生活習慣、社会経済などを詳しく紹介します。ご興味のある方は、是非ご参加ください！

開催日時

2024.11/30(土) 13:00～16:00

会場：青森県観光物産館アスパム 4階 十和田

QRコード

E-mail

lounge_supporter@aomori-kanko.or.jp

FAX ▶ 017-735-2067

申込期限 2024.11/15(金)

どなたでも参加できます

無料



講師 (モンゴル) 公益社団法人日本モンゴル協会 理事長 窪田 新一 氏

【略歴】大正大学史学科教授、東京外国語大学、亜細亜大学、桜美林大学など非常勤講師を歴任。国際協力機構(JICA)、外務省、経済産業省の調査、評価プロジェクトに参加。

「遊牧モンゴルの現代的課題」「モンゴルの経済復興と仏教」「モンゴルはどこへ行く』『モンゴル佛教史研究(一)～(五)』『モンゴル・冬の旅』など多数の論文・著作物を執筆。

講師 (カンボジア) 一般社団法人日本カンボジア協会 会長 高橋 文明 氏

【略歴】元駐カンボジア大使。1972年、東京大学教養学部卒、外務省入省。

在モンテリオール総領事、ユネスコ日本国政府代表・大使、イラク復興支援等調整担当大使、駐スペイン大使等を経て、2014年より日本カンボジア協会会長に就任。

日本語教育について、こんな相談がありました

<相談内容>

子どもを母国から呼び寄せて、青森市内の中学校に通わせたいが、私は日本語が話せないし、どこに相談すればいいかわからない。
(相談者：青森市在住の外国人)

当機構では、日本語が話せない相談者と市の教育委員会との間で通訳の支援を行い、相談者のお子さんが無事に中学校に入学できました。

また、学校側からの依頼に応じて、学校生活に関する説明会や連絡事項の伝達等においても、当機構の3者間通話サービスを利用するなどして相談者をサポートしました。

その後、無事に中学校を卒業し、「楽しい学校生活でした、外国人相談窓口のサポートに感謝します。」と感謝の言葉をいただきました。

外国人相談窓口について

「青森県外国人相談窓口」では、青森県内に住む外国籍の住民を対象に、日常生活での困りごとをサポートするため、相談窓口を開設しています。

相談は21か国語で対応しており、お話を聞きながら、どのような支援が必要なのかを判断し、担当窓口や専門機関に繋いで、問題が解決できるようにサポートします。

また、「3者通話による通訳サービス」では、行政などの各種相談窓口、外国人住民、当機構の通訳相談員が同時に繋がり、通訳を介して相談することもできます。

周囲の外国籍の方にぜひお知らせください。

● 相談対応曜日・時間

火～土（日、月は休み）10:00～17:00

● 相談方法

対面／青森県観光物産館アスパム2階 国際交流ラウンジ
TEL／017-718-5147（3者通話通訳サービスを含む）
SNS／WeChat、Facebook（Messenger）、WhatsApp
E-mail／lounge_supporter@aomori-kanko.or.jp

※必要に応じて、同行通訳（1回のみ）を行います。

相談員がいる曜日

中国語	火～土
タガログ語	火、木、金、土
英語	火、木、金、土
ベトナム語	火



世界の文化
コーナー

知っていますか？

同じ漢字でも、中国語と日本語の意味が全然違います！

丈夫

日：頑丈でしっかりしていること
中：主人、夫のこと

愛人

日：（一般に）配偶者以外の交際相手
中：配偶者

小人

日：子ども
中：器が小さい人、卑怯者

先生

日：教員や医師などの呼び方
中：男性への尊称、主人、夫のこと

老婆

日：年齢を重ねた女性
中：妻

清楚

日：飾り気なく、清らかなこと
中：文字などがはっきりしたこと

怪我

日：転んだりして体が傷ついたこと
中：「私のせい」、自責すること

経理

日：会計職など
中：マネージャー、管理職など

勉強

日：学問や技術を学ぶこと
中：強制、無理やりすること

結束

日：団結すること
中：終えること、終わること



～JICAをご活用ください～



JICA東北※では、主に学校を対象とした様々なプログラムをご用意し、探究型学習へのご活用にもお応えしております。また、職場や町内会の活動などでもご活用いただけるメニューの充実も進めております。

まず関心をもつことから始めてみませんか？

※JICA東北：独立行政法人国際協力機構の東北拠点



JICA国際協力出前講座

開発途上国で国際協力に携わってきたJICAボランティア経験者やJICAスタッフが皆さんの学校や地域に出向き、開発途上国での異文化体験、ボランティア活動、国際協力についてお話しします。下記の内容で実施し、随時受付していますので、詳しくは、お問合せください。



講演テーマや内容

担当の方と話し合った上で進めていきますのでご安心下さい。

(例：キャリア教育・職業講和・SDGsと国際協力・海外キャリア・自信をつけてほしい・スポーツと国際協力・ワークショップ)



講演時間

基本的に50分～となっています。担当の方と打合せして決定します。



必要資材

スライドを使って発表する事が多いため、プロジェクター及びスクリーン、HDMI端子が使える環境であれば実施可能です。



謝金や交通費

初めてお申込みされる場合、JICA東北が謝金及び交通費を全額負担します。

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2024



国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

本コンテストでは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として、エッセイを募集します。

お問合せ先

〒030 - 0803 青森県青森市安方1-1-40

青森県観光物産館アスパム 2F 国際交流ラウンジ内
JICA東北青森デスク 阿部翔太

(元青年海外協力隊ニカラグア野球隊員)

TEL / 080-3140-2129 FAX / 022-227-3090 (JICA東北)

E-mail / jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp



イベントカレンダー

※交流型日本語教室でサポートしたい方は、事前に当機構までご連絡ください。

- | | | |
|---|---|---|
| <p>9月 交流型日本語教室(青森市)</p> <p>5(木) 19(木) 18:30 ~ 20:30
 📍 アスパム 8F しらかみ</p> <p>オンラインにほんごカフェ</p> <p>12(木) 26(木) 20:00 ~ 21:15
 📍 アプリ : ZOOM</p> <p>おしゃべりサロン(防災)</p> <p>14(土) 10:30 ~ 12:00
 📍 アスパム 2F ラウンジ</p> <p>交流型日本語教室(中泊町)</p> <p>20(金) 18:00 ~ 20:00
 📍 中泊町役場</p> | <p>10月 交流型日本語教室(青森市)</p> <p>3(木) 17(木) 18:30 ~ 20:30
 📍 アスパム 8F しらかみ</p> <p>オンラインにほんごカフェ</p> <p>10(木) 24(木) 20:00 ~ 21:15
 📍 アプリ : ZOOM</p> <p>おしゃべりサロン(りんご)</p> <p>12(土) 10:30 ~ 12:00
 📍 アスパム 2F ラウンジ</p> <p>交流型日本語教室(中泊町)</p> <p>18(金) 18:00 ~ 20:00
 📍 中泊町役場</p> | <p>11月 交流型日本語教室(青森市)</p> <p>7(木) 21(木) 18:30 ~ 20:30
 📍 アスパム 8F しらかみ</p> <p>オンラインにほんごカフェ</p> <p>14(木) 28(木) 20:00 ~ 21:15
 📍 アプリ : ZOOM</p> <p>交流型日本語教室(中泊町)</p> <p>15(金) 18:00 ~ 20:00
 📍 中泊町役場</p> <p>令和6年度第2回国際理解講座</p> <p>30(土) 13:00 ~ 16:00
 📍 アスパム 4F 十和田</p> |
|---|---|---|

県内の日本語教室

各教室に関する詳しい情報は右記のQRよりご確認ください。



地域	団体名	電話番号	E-mail
青森市	青森日本語クラブ	017-782-1171	aomori.nihongoclub@gmail.com
	国際文化交流クラブ (ICEC)	090-7660-1583	potlucksmore@yahoo.co.jp
	日本語学習支援「青い森」	090-3360-6541	yuyu64asayu@gmail.com
弘前市	弘前日本語クラブ	090-4049-0057	hnc1900@yahoo.co.jp
	弘前日本語ティールーム	090-5842-0672	hirosakinihongotearoom@hotmail.co.jp
	国際にほんご教育センター (IJEC)	0172-38-7707	i.nihongo.e.c@ijec.jp
	ひろだい多文化リソースルーム	0172-30-9145	info@hirodayaimrr.or.jp
八戸市	みちのく国際日本語教育センター (MIJEC)	080-6051-3109 080-6026-3109	michinokunihongo@gmail.com
三沢市	みさわ国際交流協会	080-6022-1349	misawa.mia@outlook.jp
六ヶ所村	国際教育研修センター	0175-73-8575	rokkasho.lounge@gmail.com
おいらせ町	たすけあい・さわやか青森	0178-52-8067	sawayakaomori@yahoo.co.jp
南部町	南部町国際交流センター	0178-38-5961	noson@town.aomori-nanbu.lg.jp

国際交流ラウンジ International Lounge

〒030-0803
 青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム2F
 ASPAM BLDG. 2F. 1-1-40. Yasukata, Aomori-shi.
 030-0803
 TEL : 017-718-5147 FAX : 017-735-2067
 E-mail : lounge_supporter@aomori-kanko.or.jp

※国際交流ラウンジカウンター／外国人相談窓口

受付時間 / 10 : 00 ~ 17 : 00
 休日 / 毎週日曜日・月曜日
 年末年始 (12/31 ~ 1/3)、2024/2/23 ~ 2/24

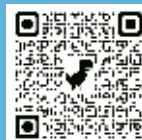
編集・発行 Publisher

公益社団法人 青森県観光国際交流機構
 国際交流グループ

〒030-0803 青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム8F
 TEL / 017-735-2221 FAX / 017-735-2067
 E-mail : info_kokusaikoryu@aomori-kanko.or.jp

当機構への
 アクセスは、
 右記QRから
 どうぞ！

HP ▶



Facebook ▶

